



親友にお金を貸して欲しいと言われたとき、あなたはどうされますか？

担保には、「人的担保」と「物的担保」があることを前回お話ししました。今回は、その「担保」のうち、「人的担保」についてお話をしたいと思います。

「人的担保」は、みなさんご存知の「保証人」です。「保証人」は、親友（債務者）があなた（債権者）にお金を約束どおり返済しなかった場合に親友（債務者）に代わって、債務の返済を約束した人です。

もし、「保証人」が親友（債務者）に代わって返済をしてくれない場合あなたは、保証人を相手に未返済の部分を支払えという裁判をすることも可能です。従って、「保証人」は、その貸し金について非常に重い責任

があることとなります。

債権者から保証人が支払いの請求を受けた場合、民法上保証人には、下記の2つの権利が認められています。

「催告の抗弁権」・・・債権者に対し、まず債務者へ支払いの催告をしてくださいと言え権利。

「検索の抗弁権」・・・債権者に対し、債務者が強制執行可能な財産を持つていると保証人が証明して、まずその債務者の財産から返済を受けてくださいと言え権利。

ただ、この「債務者にまずをしてから、私に請求してください。」という保証人の債権者に対する抗弁権も資産状態の悪化した債務者の保証人には、無力な感が否めません。

ちなみに、銀行の貸金などの契約書の雛形に当然の様に書いてある「連帯保証人」には、「催告の抗弁権」も「検索の抗弁権」も認められていません。即ち、請求を受ければ、すぐ支払いをしないといけない立場に

ありますので、保証人よりさらに責任が重くなります。

また、保証人は、債務者が借りた元本（今回は、500万円でしたね）だけの責任を負うのではなく、その元本に対する利息、約定返済をしなつた場合の遅延損害金についても責任を基本的に負います。

L&P司法書士法人	
大阪市北区梅田2	5 4
06 6455	0171
神戸市中央区明石町48	
078 325	8886

### 第7回 コアラ会ゴルフコンペ

少し肌寒く、時折小雨が降りましたが概ね穏やかなゴルフ日和の11月13日、西宮高原ゴルフ倶楽部において総勢12名により第7回コアラ会ゴルフコンペを開催いたしました。

西宮高原ゴルフ倶楽部は、ゴルフの醍醐味を存分に味わえる昭和36年開場の風格あるコース設計で、参加者の皆様方も楽しまれていました。



コアラ会では、当共済会会員のゴルフメンバーを年齢に関係なく募集しています。次回は平成26年春（初夏）開催を予定しています。初心者もベテランの方々もぜひお誘いあわせのうえご参加ください。

- 第7回コアラ会成績
- 1位 田中正司（三幸鉄工所）
  - 2位 幸勝一（三幸鉄工所）
  - 3位 安達茜（三幸鉄工所）
  - 4位 大成賢志（大伸塗工株）
  - 5位 松元登喜男（天彌工業）
- ニアピン 安達茜、大成武  
中西和浩、池田直



### 新年号によせる

協同組合阪神商工共済会  
理事長 笹部 藤和

新年あけましておめでとございます。会員の皆様にとって今年が良一年であることを願って一文を差し上げます。さて、最近よく言われている

ビジネス用語で「ゆとり世代」と「さとり世代」という言葉があります。

小学校では2002年度に施工された学習指導要領で育った若者達であり、中でも87〜94年生まれの「ゆとり第一世代」につづく現在20歳前後の世代を指すのが「さとり世代」であり昨年の流行語大賞の候補にもなりました。それぞれの特徴は、「ゆとり世代」の方は堅実で安定した生活・流行に左右されず無駄がなく自分に心地良いものを選ぶという消費スタイル。

一方の「さとり世代」の方は「欲が無くほどほどで満足する」「車にもブランド品にも興味がない」「恋愛にも淡泊」「節約志向でコストを重視する」などを特徴とする。

実際に「車を買っても維持費がかかるし、それほど乗らないバイクで用は足りる」などという若者からは特に我慢している様子が見られない。こうした「ゆとり・さとり世代」の特徴の原因に挙げられるのがSNS（交流サイト）を始め



としたネット情報の氾濫である。このような世代がどんどん今までのバブル期世代や未だに健全な第2次大戦後世代の仲間入りをしてくる。マーケティング的にはそんな彼らに向けた商品開発が課題となり、また、社員として彼らを迎え入れた場合、どのように対処するかが経営者としても古い世代の担当者としても問題になってくる。

「いらっしやいませ。美味しいお茶は、いかがですか。」  
威勢の良い声の主は、『玉水園』店主の米田光男さんです。  
『玉水園』は昭和58年、尼崎市杭瀬市場で創業されました。

「お茶は、昔からある健康の元漢方薬なんです。どうもそれを皆さんすぐに忘れてしまいます。お茶の効能は、『ガンの予防』『食中毒の予防』『ダイエット』等、色々ですが、話題になってもすぐに忘れてしまいます。」  
確かに、お茶は健康のために飲むと言うより、食事の時に付随するものと言う認識が強い。「お客様がお茶を買われる時、一回分と勘違いして、オカズと



紙ナプキンに包まれたフオークとナイフ、キャベツ・スパゲツテイの添えられたポークチャツプ、懐かしく美味しくいただきました。

60年以上営業されている食堂は、常連さんもいて、尼崎を離れても月に1度は訪れる方もいらっしゃるそうです。

昔と少しも変わらない「人味」のある店。仕事に疲れたときに心休まる、昭和レトロなお店です。心がほっこりしますよ。

06 6411 2084  
尼崎市昭和南通6丁目145  
(吉本)



### 消費税転嫁対策特別措置法



平成26年4月1日 消費税が8%になります。それに伴い消費税転嫁対策特別措置法が成立しました。消費税の価格への転嫁が円滑に行われる為に施行されました。

平成26年4月1日以降に供給する商品または役務の取引について、消費税分を値引きする等の広告宣伝が禁止されます。

取引の相手先または消費者に消費税を転嫁していない旨の表示

- ×消費税はいただきません
- ×消費税は当店が負担しています

取引の相手先または消費者が負担すべき消費税に相当する額の全部、又は一部を対価から値引きする旨の表示で、消費税との関連を明示しているもの。

- ×消費税上昇分値引きします
- ×消費税3%分値引きします

消費税に関連して取引の相手先または消費者に経済上の利益を提供する旨の表示であって に掲げる表示に準じるもの

- ×消費税相当分ポイントを付けます。次回のお買物にご利用下さい

価格の表示について

商品の表示価格が税込価格であると誤認されない措置がしてあれば

「税込価格」を表示しなくてもよいことになりました。(平成25年10月1日以後)

値札、チラシ、ポスター、商品カタログ、インターネットのページ等の表示例

円 + 消費税

円 (税抜価格)

円 (本体価格)

個々の値札や商品カタログの商品には「円」と税抜価格のみ表示し、別途店内やカタログ内の消費者の目に必ずつきやすい場所に明瞭に、「当店(当社カタログ内)の価格は全て税抜価格になっています」と掲示しなければなりません。

上記は一時的な特例で、できるだけ速やかに「税込価格」の表示をしなければなりません。

その他禁止事項 消費税分の値引きを求めたり、代わりの商品やサービスの要求、本体価格での値段交渉の拒否など禁止事項も定められています。

同じぐらいの金額になるんですね。本当は100gで十回分あるんです。ですから、いくら高いお茶を買われても、オカズの十分の一、二十分の一なんですね。」

「お客様は『高いお茶は淹れ方が難しいから』とおっしゃいますが、そんな事はありません。熱いお湯をざつと入れて出す、それがウチのお茶の基本です。難しい事を考える必要はありません。」

米田さんは、何年前にもお茶屋さんらしからぬモノを發明されました。

「結婚してすぐに、『いびきが



「ヒドイ!」と言われ、それから二十数年、ゴオゴオといういびきを聞かせ続けました。ある時、ラジオの番組で『いびきをましにするモノ』があると聞き、試してみましたが、ダメでした。それから数カ月後、たまたま閃いたモノがあり、試行錯誤した結果出来上がったモノがあります。それが『いびきの改善器具』。静五善(しずかごぜん)です。」

お茶とはまるで関係の無い『いびきの改善器具』を發明されたのです。

「『メイドイン・尼崎』にも認定された事がキッカケで、色んなメディアに出没させて頂きました。一般事務機・日用品卸・宣伝販売の(有)ケイ・エス・システムの坂口社長のご尽力により、今では『東急ハンズ』の関西四店舗にも置いて頂いております。」

またその他にもお店独特のお茶があり、

「ほうじ茶ブレンドの『香・茶(こう・ちゃ)シリーズ』は洋菓子にも合うお茶で、これも

「メイドイン・尼崎」に認定して頂きました。それと独自のコンセプトで作った粉末緑茶『茶(ちゃ)美(び)香(か)』は健康志向のお茶と考えています。」とのことです。

静五善のホームページも開設されていますのでぜひ検索してみして下さい。

06・6481・1684  
尼崎市杭瀬本町一の十九の三

**大手橋食堂**  
店主 藤本 一彦

三和本通商店街のほぼ中央に60年以上食堂を運営されている「大手橋食堂」さんを、今回ご紹介させて頂きます。

現在のご主人3代目藤本一彦さんの祖父に当たる初代藤本一重さんが、戦前尼崎市西本町の一角で食堂を始められました。

戦後2代目の父藤本隆夫さんが現在の場所に店を開かれ、「大手橋食堂」は90年近い歴史をお持ちです。

三和に開店した当時は、高度

成長期で年末ともなると商店街の中は人でごった返してしました。

買物帰り大手橋さんでおうどんなどを食べながら、店内のテレビでプロレスの試合や相撲中継が楽しみ、というお客様がたくさんいて、力道山の空手チョップや大鵬・柏戸に歓声が上がっていたのが一彦さんの子供の頃の思い出です。

そのころを思い起こさせる店内は、映画「オールウエイズ三丁目の夕日」のワンシーンに出てくるようなたたずまいです。

メニューはとても豊富で和洋中とり揃っています。ガラスケースの中に料理サンプルが並んでいるのもなんだか懐かしい光景です。

お客様にお聞きすると、「ケチャップものがよろしいで」と言われる方、「オムライスが好きです」との声。子供のころから通っていていつもランチかつ丼を頼まれる方。その中にポークチャップをおいしそうに頬張っている方もいらっしゃいます。